

(様式 2)

2023年5月12日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

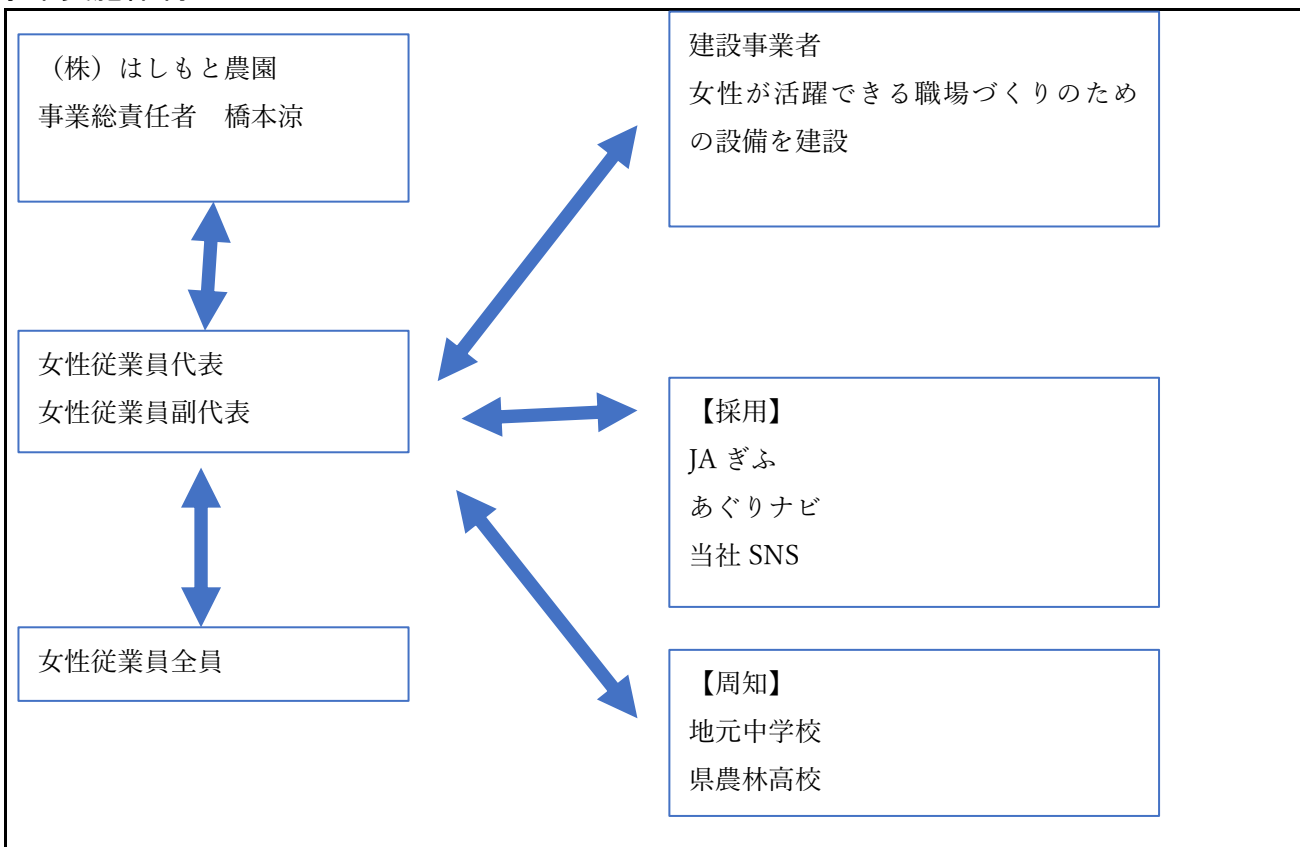
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	株式会社はしもと農園	
所在地	岐阜県各務原市前渡東町5-179	
代表者	橋本 涼	
主な組織の事業内容(注)	<p>【当社の現状】 農園概要 ハウス①面積約1,000㎡、イチゴを栽培 ハウス②面積約3,500㎡、ミニトマトを栽培</p> <p>当社は2014年に代表の橋本涼が新規就農者愛知県より岐阜県に移住して営農を開始した。 最初は築約30年の中古ハウス(ハウス①)を賃借して栽培を開始した。 2018年に新設ハウス(ハウス②)を建設し規模拡大し法人化。</p> <p>現在雇用人数は 正社員が3名(内女性1名) パートスタッフが15名(内女性12名) の計18名。</p> <p>当社は施設野菜のため、重いものを運んだりする重労働よりも収穫や出荷調整といった作業が多い。加えて、果実の割れチェックなど細かいところに気づく視点が必要であり、女性の活躍なくして成り立たない営農形態である。</p>	女性農業者の 人数：13人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



- ① (株) はしもと農園は本事業に関して女性従業員の代表を従業員の中から選出する。代表は他の従業員全員に設置して欲しい備品やレイアウトの意見を聴き、事業推進にあたっての権限を委譲する。
副代表は女性従業員の中から選出し、事業推進が円滑に進むように代表の補佐を行う。
- ② (株) はしもと農園代表橋本涼は女性従業員の意見を取り入れ、当社の方針が決まった上で建設事業者と設備の設置位置、レイアウトなど、より具体化したものを打ち合わせ協議の上、備品・設備の設置を遂行する。
- ③ 株式会社 はしもと農園は備品設置の打合せと同時期から女性がより働きやすい仕組みや制度づくりの意見交換を社内でスタートさせる。女性従業員代表が主となり急な育児・介護に対しても休みやすい仕組みづくりに向けて副代表と一緒に制度樹立に向け女性従業員全員で話し合う。
- ④ 求人情報を提供する「JA ぎふ」、「あぐりナビ」との連携や当社の SNS 等で求人などに出来上がった男女別トイレ及を紹介、女性が働きやすい仕組み作りで構築した制度などを掲載して働く世代の女性の確保、他産業並みに充実した設備・制度をアピールし、令和 5 年の人員確保の準備に尽力する。
- ⑤ 当社のある各務原市内中学校の職業体験では 3 年前から職業体験先として当農園を選択して頂いている。体験時に実際に設備の充実を体感してもらうことによって本事業による取り組みを周知する。

- ⑥ 設備を完成させた後に当社の女性が働きやすい制度を創設する。創設後もより良い制度の構築ため都度改革を行っていく。
- ⑦ 事業終了後も視察の受け入れ等によって取り組みを紹介し地域や農業の女性活躍の場を広げる事に貢献しモデルケースとなることを目指す。

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

当社がある岐阜県各務原市はニンジンを中心とした露地栽培が主である。その中で近年トマトやイチゴを始めとする施設野菜での営農も増加してきているも経営体としてはまだ少ない。

それらも当社同様にトイレや休憩室といった働く環境が整っていない場合が多く、女性の就労定着が地域の課題となっている。

当社が本事業を用いて環境整備をすることによって近隣生産者の先駆的な例として示し、その重要性を広めるきっかけとなることを目指す。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

当社は2014年の営農開始から女性を中心に雇用をしてきた。

その中で2023年2月に現在雇用している女性従業員12名全員に対してアンケートと個別の面談を行った。

その結果、

- ① トイレが男女共用であり使いたくない。
- ② 男女一緒の簡易式のトイレのみで男女別であると嬉しい
- ③ 近隣のコンビニに休憩中に行っている。
- ④ トイレが簡易式のため衛生面が気になる
- ⑤ トイレの数が少ない

という意見が寄せられた。

上記の状況であり、決して女性従業員にとって働きやすい環境が整備されているとは言い難い。

環境整備に関しては設立当初から切望していたことであり、整備を検討したが新規就農で経営基盤がしっかりしているとは言えず財政的に整備に踏み切れていないのが現状である。

今後増加していく求人需要がある中で、女性の活躍と就労継続、地域農業の発展のためにはこのような女性が快適に働くための課題解決が不可欠である。より働く側にとって魅力的で女性が働きたいという環境を整え、選んでもらえる企業としていくために本事業に取り組んでいきたい。

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

現在、当社が抱える問題点として

- ① トイレが水洗でなく衛生面に不安がある。
- ② 男女別のトイレがないため使用時に配慮が必要となり使用しづらい。

上記の点から女性が快適に働く環境が整えられていないといえる。
 これらの問題点を解決するために下記の取り組みを本事業の活用にて実施したい。
 男女別のトイレを新規に設置

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画(実績)

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者の人数 (注2)	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
③ 男女別トイレ	R5年 9月	トマトハウス 横	1	13	3,241	2,500	
計			1	13	3,241	2,500	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された者を含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事する者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。(3)において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画(実績)

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他				
		内容	実施	参加する	事業費	備考

区分番号 (注1)	時期		回数	女性農業 者の人数	(千円)	国庫補助金	
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画 (注)

時期	取組内容・回数	備考
	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>お子さんがまだ小さい女性スタッフは子供の急な体調不良などで出勤日の朝に出勤できなくなることがしばしばあります。そのような時は遠慮なく休んでもらい、勤務評価の対象とはしません。また、生理などで体調不良になりやすい方もおり、早退など柔軟に対応しています。</p> <p>求人、採用時にもその辺は説明して働きやすいと思ってもらえるように心がけております。</p>	<p>【目標】</p> <p>新規採用13名</p>

	<p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>令和5年9月までに新規で男女別のトイレと休憩室を整備し令和5年度中に新規で13名の女性従業員を採用。また、定着率を上げる。</p> <p>現在当社の女性従業員は40代が中心となっている。本取り組みによってより幅広い年代の女性を採用できるように環境を整備する。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境の整備に向けた社内検討会及び顧問社労士への相談 1回 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人サイトへの掲載 1回(10月～2月) ：JAぎふ ：あぐりなび ：弊社求人サイト <p>現在、当社が抱える問題点として</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ トイレが水洗でなく衛生面に不安がある。 ⑤ 男女別のトイレがないため使用時に配慮が必要となり使用しづらい。 	
--	--	--

	<p>上記の点から女性が快適に働く環境が整えられていないといえる。</p> <p>これらの問題点を解決するために下記の取り組みを本事業の活用にて実施したい。</p> <p>① 男女別のトイレを新規に設置</p> <p>【事業の継続性】</p> <p>事業実施後も継続して設備の満足度や改善点を調査するために定期的なアンケートとミーティングを実施する。</p> <p>【支援対象】</p> <p>本事業では12名が主体的に関与し、施設を利用する。</p> <p>また、今後出荷形態の変化によってより多くの雇用が必要となる。</p>	
--	--	--

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	8人
	事業実施翌年度	5人
	合計	13人
(女性農業者の新規確保人数の内訳) 自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、 アルバイト等11人		

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画
 (第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)

【事業実施年度】 (取組予定業務) トマトの生産管理 (採用時期) 令和5年9月 (人数) 8人
【事業実施翌年度】 (取組予定業務) トマトの生産管理 (採用時期) 令和5年9月 (人数) 5人

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。